

## 三戸町と八学大、短大部 地域活性化で連携協定

協定書を交わす（左から）水野眞佐夫  
学長、松尾和彦町長、杉山幸子学長  
20日、三戸町役場



三戸町は20日、八戸学院大や同大短期大学部と、地域活性化などに関する包括連携協力協定を締結した。基幹産業の農業分野の人手不足解消へ向けた調査などに当たる。

自治体と大学による枠組みの協定は、同町にとって3例目。同大と同大短期大学部は共に7例目となる。

今回の協定では▽地域活性化の研究▽地域人材の育成および定住促進▽地場産業の振興▽健康増進とスポーツ振興の4項目を協力事項として定める。

具体的な取り組みは今

後、協議する方針。農家の労働力に関する調査や、介護を学ぶ学生に対する実習の場の提供、スポーツ指導者の育成などを想定する。

町役場で行われた調印式では、松尾和彦町長と同大の水野眞佐夫学長、同大短期大学部の杉山幸子学長が書面を交わした。

松尾町長は「人口減少や超高齢化といった課題の中でまちづくりを進めている。八戸学院大や短期大学の研究を活用することで、施策の充実につながる」と期待した。

（金澤一能）